

## 令和4年度 生田高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

## ○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
1 法令遵守意識の向上	職員行動指針の周知・徹底により、公務員として絶対に不祥事を起こさないという法令遵守の意識を向上させる。	(1)不祥事防止研修で「教職員の倫理に関する指針」を確認し、公務員としての法令順守の意識を高めた。 (2)経験の浅い教職員に対する定期的な声かけと相談体制の整備を行った。
2 職場のハラスメントの防止	人権意識を向上させ、他者の思いへの気づきを促し、良好な職員間の人間関係を構築する。	(1)人権研修会で「ペップトーク」を取り上げ、他者を慮る人間関係の構築を図った。 (2)4月に啓発資料「風通しの良い職場づくり」の活用やサブリーダー会議を開催し、同僚性の醸成を通して、ハラスメントの防止につなげた。
3 わいせつ・セクハラ行為の防止	日々の言動に留意し、セクハラ・わいせつに係る事故・不祥事を根絶する。	(1)不祥事防止研修で生徒とのSNS等の利用禁止について継続的に確認した。 (2)5月に不祥事防止研修会で「教員による性暴力をなくすためにどのようなことを理解し、行動していくべきか」について振り返りと協議を行うことで自分事として考え、セクハラ・わいせつ事案の根絶に向けて更に意識を高めることができた。
4 体罰、不適切な指導の防止	体罰は子どもの人権を損ない、子どもとの信頼関係を根底から覆すものであるという意識を職場全体が持ち、未然防止に向け職員間で互いに相談できる職場づくりを実現する。	(1)9月に体罰・不適切な指導の防止に関する不祥事防止研修を実施し、体罰の根絶に向けて改めて確認した。 また、生徒相談窓口の充実を図り、気軽に相談できる校内体制を推進した。
5 入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る適切かつ効率的な作業・点検体制を整え、事故の未然防止に職員一人ひとりが自覚を持って取り組む。	(1)入学者選抜の作業が始まる前に、研修会を実施し、採点・点検手順などを全職員で共有し、ミスが生じないように周知徹底を図った。 (2)7月に定期試験・成績処理に関する研修を行い、全職員で成績処理の手順を確認し、段階に応じた点検・確認作業を確実にを行った。
6 個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	文書等の適正な管理を徹底し、個人情報の不適切な取扱いや流失等の未然防止を徹底する。	(1)毎週末に「業務管理セルフチェックデー」を設け、個人情報の適切な取扱いを確認するとともに、情報セキュリティ対策を徹底した。
7 交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通ルールや交通マナーの遵守し、交通事故を防止する。	(1)自動車の運転時のルール・マナーの遵守を呼びかけ、交通事故防止につなげた。 (2)飲酒の機会が多くなる12月に注意喚起を行い、酒酔い・酒気帯び運転防止を徹底した。
8 業務執行体制の確保等	不祥事防止研修会等を通して、職員の意識向上とモラルの維持を図り、事故・不祥事を防止する。	(1)外部対応については、不祥事防止研修会等を通して、迅速かつ丁寧な組織的対応を行うことで事故・不祥事を防止した。
9 会計事務等の適正執行	私費会計基準に則った適正かつ迅速な会計処理を行い、会計事務に係る事故を防止する。	(1)研修会等で適正かつ迅速な会計処理の徹底を図るとともに、毎週末「業務管理セルフチェックデー」でも事故防止の啓発を行った。

○ 令和4年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和5年度に取り組むべき課題  
(学校長意見)

教職員による不祥事の未然防止、早期発見及び再発防止のための実効性のある対策や対応に取り組むことを目的として不祥事防止会議を定期的開催するとともに、神奈川県教育委員会不祥事防止啓発・点検資料を中心とした不祥事防止研修会を実施した。また、不祥事防止研修において振り返りや討議などを行ったり、「業務管理セルフチェックデー」を設けたりすることで、実効性のある対策を実施できた。次年度は更に同僚性を高めながら、良好な職場環境づくりを通して不祥事防止の未然防止に努めていく。